

2022年6月14日

シェーンブルン宮殿の庭園に咲く椿を伝統的な象嵌細工で描き出した華やかな限定モデル ベーゼンドルファー グランドピアノ 『カメラリア』 を発売

株式会社ヤマハミュージックジャパン（注1）は、ヤマハ株式会社の100%子会社であるL. Bösendorfer Klavierfabrik GmbH（注2、以下ベーゼンドルファー）のグランドピアノの限定モデルとして、『カメラリア』を6月14日（火）に発売します。

Bösendorfer

ベーゼンドルファーグランドピアノ 『カメラリア』

このたび発売する『カメラリア』は、ベーゼンドルファーピアノで人気のVCシリーズから「モデル 214VC」をベースに、ヨーロッパの伝統的な象嵌細工の手法を用いて繊細な装飾をピアノの屋根の内側に丁寧に施した、全世界18台限定のモデルです。屋根の内側に細部まで美しく描かれたカメラリア（椿）のデザインは、オーストリア・ウィーンにあるシェーンブルン宮殿庭園内の温室にコレクションされている椿の花をモチーフとしています。また鍵盤左側の拍子木部分にシリアルナンバーの入った真鍮プレートをはめ込み、限定モデルに相応しい特別な仕上げとしました。

“ウィナートーン”と評されるベーゼンドルファーらしいあたたかさとともに煌びやかさを併せ持った音色に、エレガントな佇まいを兼ね備え、サロンコンサートやレセプションなどおもてなしの空間にも最適なピアノです。

<概要>

1. ヨーロッパの伝統的な技術を用いて描かれた優雅なデザイン
2. カメラリアの花のデザインが施された譜面台とシリアルナンバー入りの真鍮プレート
3. オーストリアの職人により丁寧に作り込まれたピアノ

品名	品番	希望小売価格	発売日
ベーゼンドルファー グランドピアノ	カメラリア	30,800,000円 (税抜 28,000,000円)	6月14日（火）

<主な特長>

1. ヨーロッパの伝統的な技術を用いて描かれた優雅なデザイン

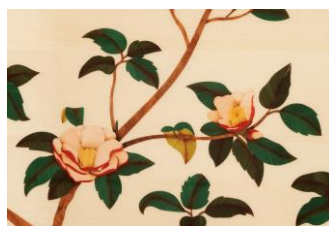
グランドピアノの屋根の内側に、異なる種類の木を使用したヨーロッパの伝統的な象嵌細工の技法による繊細な装飾を丁寧に施し、華やかな仕上がりや気品のある佇まいを実現しました。屋根の内側に描かれているデザインは、世界文化遺産・シェーンブルン宮殿の庭園にある大温室「パームハウス」で栽培

■ 一般の方のお問い合わせ先：

株式会社ヤマハミュージックジャパン ベーゼンドルファー・ジャパン

TEL. 03-6681-5189

されている椿の花から着想を得たものです。色付けした木材に焼いた砂で焦げ色をつけて陰影をつける伝統的なサンドシェーディング技法を用いて、細部まで美しくデザインされたピンクや赤のカメリアの花を優雅に表現し、鮮やかな立体感を演出しています。



2. カメリアの花のデザインが施された譜面台とシリアルナンバー入りの真鍮プレート

バーズアイメイプル木地の譜面台には、カメリアの花のデザインが施されています。また鍵盤左側の拍子木部分には、カメリアの花のデザインとシリアルナンバーが刻印された真鍮のプレートがはめ込まれ、限定モデルに相応しい特別感を演出します。



3. オーストリアの職人により丁寧に作り込まれたピアノ

『カメリア』のベースとなっている「モデル 214VC」は、ベーゼンドルファーのラインアップの中で世界的に最も人気のある VC シリーズのモデルです。オーストリアの熟練した職人の手作業により、時間をかけて丁寧に作り込まれています。すべてのチューニングピンに 1 本ずつ独立して弦を張る「総 1 本張り」の手法によって音程の安定性を高めているほか、低音部の弦に手巻きの巻き線を採用、また響板を含め楽器全体の 80%以上を高品質なスプルース材を使用することで楽器全体が振動して共鳴し、「ウィナートーン」と呼ばれるベーゼンドルファー独自の豊かな響きとともに煌びやかさを併せ持った音色が生み出されます。

<製品仕様>

製品仕様の詳細は、製品サイトをご参照ください。

<https://www.boesendorfer.com/ja/pianos/collectors-item/camellia>

<注>

1) 株式会社ヤマハミュージックジャパン

日本国内における楽器・音響機器の卸販売および教室事業を行うヤマハ株式会社の 100%子会社。
本社：東京都港区。

2) L. Bösendorfer Klavierfabrik GmbH (ベーゼンドルファー社)

プレミアムピアノの製造・販売を行うヤマハ株式会社の 100%子会社。1828 年にウィーンで設立。
本社：オーストリア ウィーナー・ノイシュタット。

*文中の商品名、社名等は当社や各社の商標または登録商標です。

*掲載情報はすべて発表日現在のものです。発表日以降に変更となる可能性もありますので予めご了承ください。

■ 報道関係の方のお問い合わせ先

ヤマハ株式会社 コーポレート・コミュニケーション部 担当：藤原

TEL. 03-5488-6605

ウェブサイト https://www.yamaha.com/ja/news_release/ (取材申し込みや広報資料請求が可能です)

■ 一般の方のお問い合わせ先

株式会社ヤマハミュージックジャパン ベーゼンドルファー・ジャパン

TEL. 03-6681-5189